

米国 Mesa Labs社 Omaha Manufacturing Facility TSB 培養テスト(培地) 製品説明

BIを培養する為の培地作成は、手間が掛かり判定も困難です。
TSB培養テストは、ガラス試験管にSCDB(液体培地)と pHインジケータが入ってお滅菌処理を施した試験紙型BIの担体をそのまま試験管に入れて所定の温度で培養をすれば容易に滅菌判定ができます。



使用目的

BIの培養試験に用いられる培地です。

使用方法

滅菌終了後、試験紙(担体)を一時包装(グラシン紙等)から取り出し、そのまま試験管に投入して下さい。

投入後、試験紙(担体)が培地に完全に浸されているかを確認して下さい。

その試験管のキャップを固く閉じて培養開始して下さい。

効果判定

培養は、7日間以上実施されることをお勧めします。

培養結果の観察は、毎日(24時間毎)実施されることをお勧めします。

培養結果は色調変化で出ますので、少しでも濁りや色調変化があれば滅菌不良、色調変化していなければ滅菌完了と判定します。

(濁りや色調に変化があれば孢子が菌に移行したことを示します。)

培養結果を正確に知る目的で滅菌されていないバイオロジカル・インジケータをコントロール用として常時培養されることをお勧めします。

なお、正常菌の最もよく繁殖する時間は培養開始後24時間後です。

製品規格

容器	ガラス製(10ml 容器)
寸法	高さ 90.0mm 直径 15.0mm
キャップ	プラスチック
使用培地	Acumedia 製 SCDB(液体培地)
使用pHインジケータ	プロモ・クレソール・パープル

保存方法

製品は 2℃~30℃で遮光保存して下さい。

冷蔵・冷凍保存は避けて下さい。

参考

本製品には、ロット番号や有効期限などが記載された製品保証書(Certificate)が入っています。

レーベン・ジャパン株式会社
〒343-0827
埼玉県越谷市川柳町3-110-8
TEL: 048-961-1781
FAX: 048-961-1782
<http://raven-japan.jp/>